

秋田県教育委員会 (所在地：秋田県)

事業名

秋田県「障害者の生涯学習支援モデル事業」

事業の趣旨・目的

- ・学校卒業後の障害者の学びの場がさらに拡充し、持続可能な体制の構築を目的として関係者が協議する地域連携コンソーシアムや本事業の周知啓発のための「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会を実施する。
- ・将来的には、全ての県民が、障害の有無に関わらず学び続けることができ、地域で互いを支え合うことができる共生社会の実現を目指す。

事業実施体制・連携先

コンソーシアムの構成員…

大学教授、障害当事者、県手をつなぐ育成会長、県特別支援学校 P T A 連合会長、県障害者スポーツ協会会長、障害者アート団体関係者代表、相談支援専門員、障害者就業・生活支援センター長、市生涯学習課長、県立特別支援学校関係者、県障害福祉課長、県教育庁特別支援教育課長

事業の取組内容

- ①関係機関の参画による地域連携コンソーシアムの形成
 - ・地域連携コンソーシアムの開催（6月、9月、1月）
 - ・委員が得意とする分野や所属先の強みを基に、コンファレンスの企画や情報提供等の連携・協働を推進
- ②障害者の生涯学習プログラムを実施する多様な実施主体（市区町村、大学、民間団体等）に対する支援
 - ・各再委託先団体や市町村等の講座運営の特徴を整理し、モデルケースとして市町村教育委員会訪問やコンファレンス、ホームページ等で情報提供
 - ・秋田県生涯学習センターの社会教育主事が、障害の有無に関わらず共に学ぶことができる学習プログラムの企画、運営について5市町と協働で計画、実践
 - ・障害者の生涯学習に取り組む団体の講座案内を各市町村への一斉メールで情報提供
- ③地域における関係団体・支援者・障害当事者等が参加するコンファレンスの実施
 - ・「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会を、会場参加とオンライン参加で開催
 - ・午前には障害のある・なしに関わらず参加できるワークショップを実施し、午後には事業説明と講演を実施し、139名が参加
- ④障害者の学びに関するニーズや実態、地域の学びの環境に関する調査研究の実施
 - ・各再委託先団体で、地域の実情に応じた講座内容や支援体制について協議する「連絡会」を実施
 - ・連絡会は、当該市以外に、周辺の市町村にも参加を依頼し、情報の共有、周知等の協力を得た

活動の様子



←地域連携
コンソーシアム

「共に学び、生きる
共生社会コンファ
レンス」秋田大会→



その他



障害者の生涯学習支援モデル事業
(美の国あきたHP)



秋田県生涯学習センター
調査研究



秋田県生涯学習センター
オーダーメイド型社会教育主事派遣
実施レポート